



昭和55年にオープンしたハミングバード本町店。仙台の「パスタ専門店」はここから始まった。

「今後の抱負をお聞かせください。私たちが目標としていることの一つに「食のロングロマリット」があります。ロングロマリットとは「複合企業体」という意味ですが、レストランだけでなく、食品加工や生産を行う六

「店づくりはまちづくりだと思っています。新しいお店ができると、まちの風景が変わりますよね。「ハミングバード」ができて、まちが良くなったね」と言われたのが、原点にあります。それを具現化したのが虎屋横丁と稲荷小路が交差する角地への出店です。商店街から国分町へつながる道なので人通りは多いですが、明かりが少なく暗い場所でしたので、ここに3店舗、私たちが明かりをとすことで、東北一の

「店づくりはまちづくりだと思っています。新しいお店ができると、まちの風景が変わりますよね。「ハミングバード」ができて、まちが良くなったね」と言われたのが、原点にあります。それを具現化したのが虎屋横丁と稲荷小路が交差する角地への出店です。商店街から国分町へつながる道なので人通りは多いですが、明かりが少なく暗い場所でしたので、ここに3店舗、私たちが明かりをとすことで、東北一の

人と人が行き交う
交差点をつくりたい

「店づくりはまちづくりだと思っています。新しいお店ができると、まちの風景が変わりますよね。「ハミングバード」ができて、まちが良くなったね」と言われたのが、原点にあります。それを具現化したのが虎屋横丁と稲荷小路が交差する角地への出店です。商店街から国分町へつながる道なので人通りは多いですが、明かりが少なく暗い場所でしたので、ここに3店舗、私たちが明かりをとすことで、東北一の

クローズアップインタビュー

「食」を通して
まちのにぎわいを生み、
仙台の文化を
発展させることに
貢献してまいります。

株式会社ハミングバード・インターナショナル
代表取締役

あおき さとし
青木 聡志氏

プロフィール

昭和50年4月12日生まれ。仙台市出身。血液型O型。東北学院大学法学部2年のとき、「自分は何者なのか」を知りたいという異国での挑戦を通して探りたいと単身渡米。アメリカの大学に編入した。2年半ほど滞在した後、家業を継承するために帰国。平成26年に社長に就任。好きな言葉は「目の前で起きる、すべての源は、私自身である」。「うまくいかないことがあっても、自分にその原因がなかったか、振り返ってみることを大切にしています」と話す。趣味はジョギング、トライアスロン。



「仙台にないもの」を
つくりたい

「パスタ専門店から焼鳥店、バルなど、多様なスタイルの飲食店を展開していますが、店舗運営で最も大切にしていることをお聞かせください。」

「弊社は祖父が営む6坪の洋食屋「キッチンエリーゼ」に始まり、今年で創業61年目を迎えました。その後、懐石料理とステーキの店に業態転換するなど紆余曲折を経て、昭和55年に仙台初のパスタ専門店として本町に「ハミングバード」を開店しました。昭和32年頃、地方都市で洋食屋をやることや、仙台で初めてのパスタ専門店を開いたことからしますと、先代から「仙台にないもの」をつくりたいという思いがあったのではないかと思います。そして、その思いの根本にあるのは「食」を通して、仙台の文化の発展に貢献したいという志です。それは、現在も最も大切にしているものです。」

誇りをもって
働くことができる会社に

「従業員さんの定着率が高いと伺いましたが、どのような人材教育を行っているのですか。」

「スタッフがどうすれば定着するのかを真剣に考え始めたのは、私が店長になったときでした。当時は家族経営の

「次産業化を追い求めて、事業として成り立つくらいのところまでもっていきたいと考えています。」

「もう一つは海外進出です。海外に出店したいと思う理由の一つ目は、完全に私のロマンです(笑)。もう一つは人口増加が続く東南アジアにマーケットとしての可能性を感じることに。そして、三つ目は、弊社の社員が海外で暮らして仕事をしてみたいこと、広い視野を養ってほしいからです。仙台を離れることで、より地元の良いが身にしてみたいと思っています。その経験と地元を愛する思いがあれば、お客さまを笑顔にする接客と店づくりができようになりそうですし、このような取り組みを続けることで、仙台を元気にすることに微力でも貢献できればよいのではないかと思います。」

【概要】
株式会社ハミングバード・インターナショナル

代表者：代表取締役 青木 聡志
創業：昭和32年7月1日
設立：昭和50年4月1日
事業内容：飲食店経営業務全般。イタリアン、和食、バル、カフェなど、多様性のある業態展開で、時代の流れにフレキシブルに対応。
資本金：2,000万円
所在地：仙台市青葉区本町2-6-16 青木ビル3F
TEL. 022-225-0522
ホームページ：http://www.h-bird.co.jp/index.html

やがて生まれ来る子供たちのために。

宇宙のオアシス『地球』。ただひとつの、この青い星を守って行かなくてはなりません。大切な人のために、そしてやがて生まれ来る子供たちのために。私たちは、よりよい環境をめざし、考えつづけます。



より良い環境をめざす
AOBA 青葉環境保全
本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)

「ような規模でしたので、待遇面では大企業にはどうしても勝つことができません。では、何を与えることができるかを懸念に考えたのです。そのきっかけになったのは、「社員になりたいです」と言ってくれたアルバイトスタッフが、親御さんから「飲食で働かせるために育てたのではない」と猛反対され、弊社への就職を断念したという出来事でした。それがとても悔しかったので、世間に「飲食業はブラックだ」と受け止められる現状をなんとかして変えて、誇りをもって働ける会社にしていこうと決めました。」

「そこで私が行ったのが、働く人たちが自分の能力を高めるためにチャレンジできる環境をつくることです。誰もが持っている「もったいなくすればよくなるのに」という思いに耳を傾け、それを実践できる場を与えています。エスバル仙台の東館に出店した「ハミングバード」は、その好例です。デリカテッセン(※調理済みの洋風惣菜を売る店)とカフェが合体した新業態なのですが、そもそもそのスタートはコーヒーが好きで、熱心に勉強しているスタッフの発想から実現した店なのです。私には「人は経験からしか学ばない」という持論があるので、やりたいことにはほとんど挑戦して、経験して失敗してもらおう。そこから何かを学べば、失敗も失敗ではなくなりますよね。それが人材育成には大切なことだと私は思います。」